

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2005-532374 (P2005-532374A)

【公表日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-042

【出願番号】特願 2004-518242 (P2004-518242)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/62 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/30 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/62

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/30

A 6 1 K 47/38

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 19 日 (2006.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オスモポリマー；

浸透剤；

フィルム形成剤；及び

二液溶媒系

を含んでなるコーティング懸濁液であって、コーティング懸濁液が約 5 重量％～約 7 重量％のフィルム形成剤を含み、コーティング懸濁液に含まれるオスモポリマー対浸透剤の比が約 0.5 : 1～約 0.7 : 1 である、投与形態物の発泡性浸透層のためのコーティング懸濁液。

【請求項 2】

コーティング懸濁液の合計固体含有率が約 16 重量％～約 20 重量％である請求項 1 のコーティング懸濁液。

【請求項 3】

コーティング懸濁液中に含まれるオスモポリマー対浸透剤の比率が約 0.6 : 1 である請求項 1 のコーティング懸濁液。

【請求項 4】

二液溶媒系がコーティング懸濁液の約 80 重量％～約 84 重量％の割合を占める請求項 1 のコーティング懸濁液。

【請求項 5】

オスモポリマー、浸透剤及びフィルム形成剤がコーティング懸濁液の約 16 重量％～約 20 重量％の割合を占め、コーティング懸濁液が約 5 重量％～約 7 重量％のフィルム形成剤、約 3 重量％～約 6.2 重量％のオスモポリマー及び約 5.3％～約 10％の浸透剤を含む請求項 1 のコーティング懸濁液。

【請求項 6】

二液溶媒系がコーティング懸濁液の約 80 重量%～約 84 重量%の割合を占める請求項 5 のコーティング懸濁液。

【請求項 7】

二液溶媒系が有機溶媒及び水性溶媒を含み、ここで有機溶媒は水性溶媒と混和性であり、オスモポリマーは有機溶媒中において難溶性である請求項 6 のコーティング懸濁液。

【請求項 8】

二液溶媒系がエタノール及び水を含む請求項 6 のコーティング懸濁液。

【請求項 9】

二液溶媒系中に含まれるエタノール対水の比率が約 1 : 2～約 1 : 4 である請求項 8 のコーティング懸濁液。

【請求項 10】

フィルム形成剤がヒドロキシエチルセルロース、例えば Natrasol、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、メチルセルロース、ポリビニルアルコール-ポリエチレングリコールグラフトポリマー及びポリビニル-ピロリドンポリマーより成る群から選ばれる材料を含んでなる請求項 6 のコーティング懸濁液。

【請求項 11】

フィルム形成剤がヒドロキシエチルセルロースを含んでなり、オスモポリマーが NaCMC を含んでなり、浸透剤が NaCl を含んでなる請求項 6 のコーティング懸濁液。

【請求項 12】

カプセル内に含有される活性薬剤配合物；
カプセル上に設けられる浸透性コーティング；
半透性層；及び
カプセルと浸透性コーティングの間に位置する場合による障壁層
を含んでなる放出制御投薬形態物であって、浸透性コーティングがオスモポリマー、浸透剤及びフィルム形成剤を含んでなり、オスモポリマー及び浸透剤と一緒に浸透性コーティングの約 55 重量%～約 76 重量%の割合を占め、フィルム形成剤は浸透性コーティングの約 25 重量%～約 44 重量%の割合を占める放出制御投薬形態物。

【請求項 13】

中間投薬形態物を準備し；
オスモポリマー、浸透剤、フィルム形成剤及び二液溶媒系を含んでなるコーティング懸濁液であって、コーティング懸濁液が約 5 重量%～約 7 重量%のフィルム形成剤を含み、
コーティング懸濁液に含まれるオスモポリマー対浸透剤の比が約 0.5 : 1～約 0.7 : 1 であるコーティング懸濁液を準備し；

中間投薬形態物をコーティング懸濁液でコーティングして中間投薬形態物を浸透性コーティングでコーティングする
ことを含んでなる投薬形態物の作製方法。

【請求項 14】

コーティング懸濁液を用いる中間投薬形態物の該コーティングを湿式プロセス条件下で行なう請求項 13 に従う方法。

【請求項 15】

中間投薬形態物の該コーティングを乾式プロセス条件下で行なう請求項 13 に従う方法。